

netXDC 千葉第3センター

接続性と利便性の高いデータセンター

印西キャンパスに
2022年5月開設



SCSK

堅牢な設備と立地 コネクティビティに優れたデータセンター

Location 立地

データセンターに最適な印西エリア

アクセス良好

日本橋から最短38分、成田空港から最短20分

災害に強いエリア

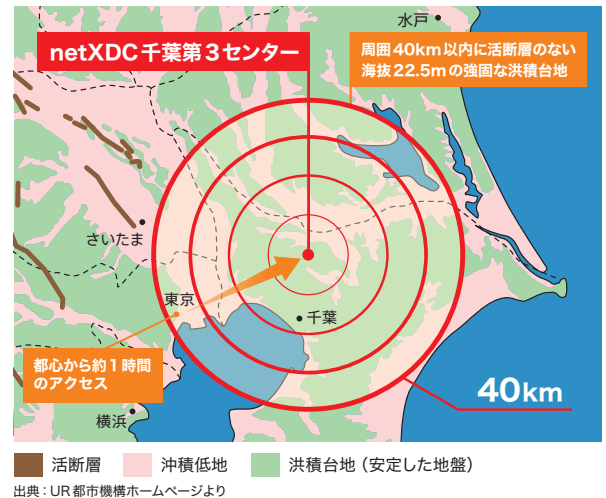
強固な洪積台地（40km以内に活断層がない）

海から遠距離（20km）

1級河川から遠距離（4km）

共同溝

コンクリートの地下トンネル内に上水道、電力ケーブルや通信ケーブルに加え、地域一帯の空調に使う温水管、冷水管も通っています。地震などで電柱が倒れるなどの危険性も無い環境です。

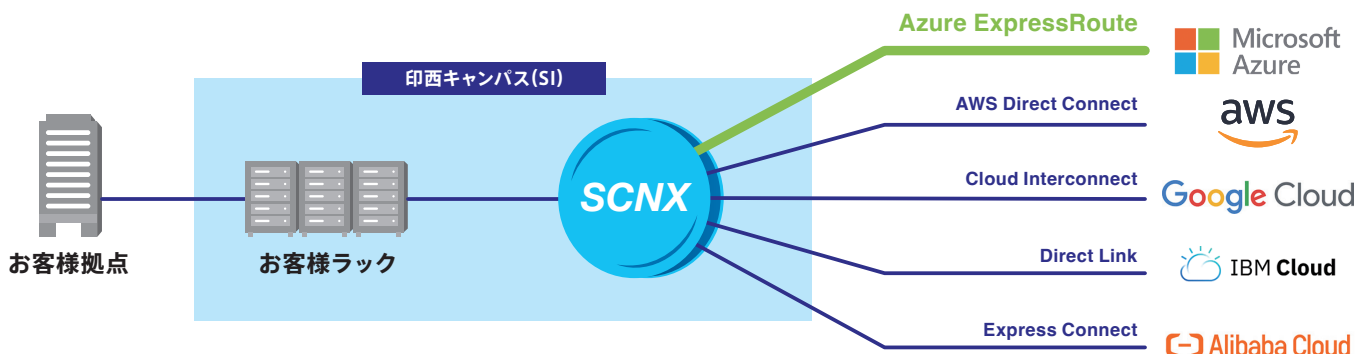


Cloud Connectivity クラウド コネクティビティ

データセンター内でパブリッククラウドと閉域接続を実現する「マルチクラウド接続サービス」

SCNX (エスシーネックス) : SCSK Cloud netXchange

理想的なハイブリッドクラウド・マルチクラウド環境を容易に構築



netXDC 印西キャンパス内に「Microsoft Azure ExpressRoute」の接続拠点があるため、キャンパス内でMicrosoftのグローバルネットワークに直接接続が可能。

※順次リリース予定

Secure

閉域接続で高い安定性とセキュリティを確保

Flexible

接続方法と帯域を柔軟に
選べるサービスメニュー

Reliable

冗長構成を標準とした
高可用性を実現

Convenient

接続に必要なBGPルータを
フルマネージドで提供

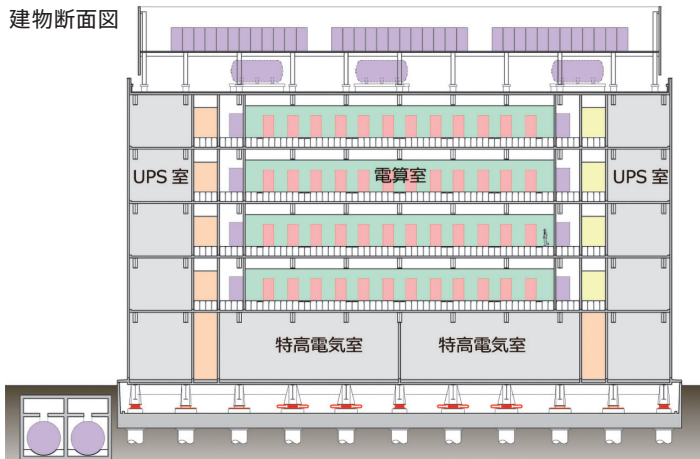
Service introduction video
(YouTube) ➡



昨今、企業や政府・自治体によるDXの加速により、お客様のIT資産とクラウドサービスとを接続するハイブリッドクラウド接続や、利用用途に応じて複数のクラウドサービスの容易な接続を可能にするマルチクラウド接続に対応したデータセンターサービスが求められています。netXDCは、これらのニーズに対応するため、パブリッククラウドをはじめとしたサービスプロバイダー、IX事業者、通信事業者などと自由に接続できる環境を有したデータセンターサービスの新しいエコシステム形成を目指します。

Facility 設備

建物断面図



サーバー室(フロアあたり)

485㎡ (200ラック) × 2室

床荷重

1,000kg/㎡

標準ラック

高: 2,200mm (46U) 幅: 700mm 奥: 1,100mm

電力 (架)

(標準) 実効6KVA

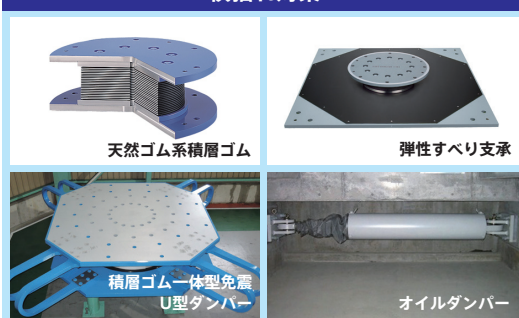
準備室(フロアあたり)

75㎡ × 2室

地震対策

基礎免震を組み合わせた横揺れ対策と、縦揺れ対策として、各フロアを支える垂直制振ダンパー (VEMダンパー) を取り入れることで、地震の揺れを最大80%減衰させます。

横揺れ対策



縦揺れ対策



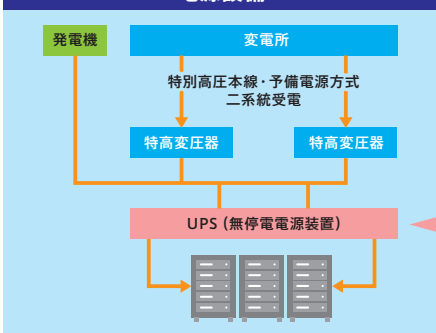
電源設備・UPS

当センターの電力は、本線・予備線方式を採用し、変電所から2系統で供給されています。

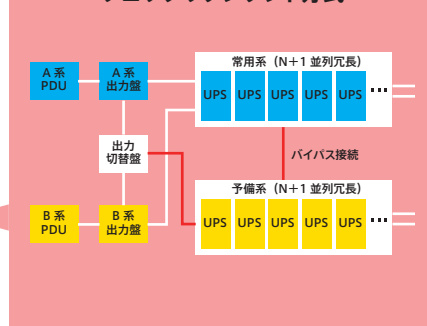
万一、電力供給が停止した場合はUPS (無停電電源装置) が約10分間電力を供給し、その間に自家発電機が起動します。

UPSは、MTBF (平均故障間隔) が125年の信頼性を有するブロックリダンダント方式を採用した構成をとっております。

電源設備



ブロックリダンダント方式



セキュリティ

カメラや各種センサーを使った24時間有人監視、X線検査機や金属探知機を使った持ち物検査、ICカードや生体認証を組み合わせた本人確認、電算室への共連れ防止、セキュリティ錠によるラック開閉など、館内は7段階のセキュリティチェックを実施しています。

7段階のセキュリティレベル

敷地	建物	電算通路	電算棟	エレベーター	電算室	ラック
有人監視 (インターホン) +カメラ+センサー	有人監視 +カメラ	ICカード +カメラ	ICカード +カメラ	ICカード +カメラ +停止制御	ICカード +カメラ+前室 +共連れ防止	IP錠
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7

セキュリティレベル低

セキュリティレベル高

※申請済みのPCや携帯電話は、持ち込みが可能です。

Environment 環境

サステナビリティへの取り組み

千葉第3データセンターでは、LED照明や外壁の断熱などと、空調に高効率な空冷フリークーリングチラー（外気による冷却装置を兼ね備えた空調設備）を採用することにより電力量を大幅削減する設備設計としております。

SCSKグループの温室効果ガス削減目標が、パリ協定が目指す「1.5℃目標」の達成に向けた科学的根拠に基づいた目標であるとして、SBTイニシアチブの認定を取得しました。

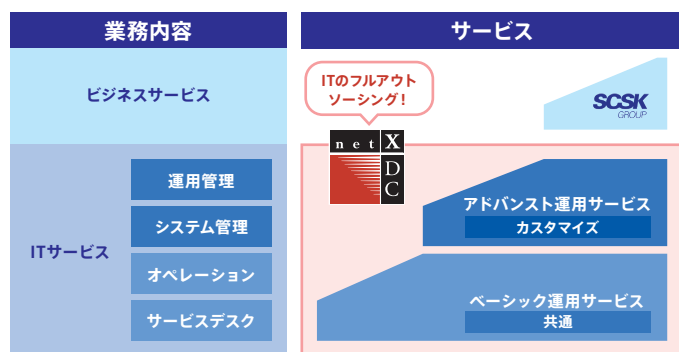


SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Service サービス

Slerならではの幅広い運用サービス



一般的なデータセンター運用サービス（ベーシック運用）に加え、アドバンスド運用サービスをご提供可能です。

アドバンスド運用サービスは、運用管理・システム管理領域をメインとしたITアウトソーシングサービスです。お客様それぞれのビジネス戦略をご支援できるよう、サービスはお客様ごとにカスタマイズが可能です。

情報システム領域をターゲットとしたITアウトソーシング、さらにはビジネスプロセスまでを包括したBPO（ビジネスプロセス アウトソーシング）まで、SCSKには、業種・業界を問わず幅広いお客様へのサービス提供実績があります。

開設	2022年5月		空調設備	高効率熱源（フリークーリングチラー）	
建物	延床面積	12,919㎡/棟		冷水温度緩和(20-28℃)	
	規模	地上7階、棟屋2階 (内、サーバー室8部屋、1,600ラック相当)	火災設備	N2ガス消火設備、超高感度煙検知器(VESDA)	
	構造	鉄骨造、基礎免振+垂直制振動	環境配慮	LED照明、中間期や冬季の外気冷房など省エネ施策を最大活用	
	耐震性能	震度7クラスを250gal以下(震度5強)に減衰	セキュリティ	7段階のセキュリティチェック(金属探知機、X線検査機 含む)	
	スラブ耐荷重	2,000kg/㎡	取得認証 (予定)	JIS Q 15001	プライバシーマーク
	床荷重	1,000kg/㎡		ISO9001	品質マネジメントシステム (QMS)
	天井高	3,200mm		ISO27001	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)
	床下高	1,000mm		ISO20000	ITサービスマネジメントシステム (ITSMS)
電源設備	受電設備	特別高圧2系統受電		ISO14001	環境マネジメントシステム (EMS)
	自家発電機	ディーゼル発電機(無給油連続72時間稼働)		ISO22301	事業継続マネジメントシステム (BCMS)
	UPS	ブロックリダンダント方式(10分保証)		SOC2 type2報告書	米国公認会計士協会(AICPA) の定める 内部統制保証報告書
	設備容量	実効6KVA/ラック (オプションにて実効8KVA/ラックまで拡張可能)	準拠(予定)	FISC	金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準 -設備基準(コンピュータセンター) 令和2年3月(第9版追補)
	電源は全て冗長化			PCIDSS	クレジットカードの国際的な安全基準

※記載されている内容は、2024年6月時点の内容となります。

※当パンフレットに記載された内容は予告なく変更することがございます。予めご了承下さい。

※記載の会社名・製品名は各社の商標、または登録商標です。

SCSK SCSK株式会社

ITインフラサービス事業グループ netXデータセンター事業本部

〒135-8110 東京都江東区豊洲 3-2-20 豊洲フロント

E-mail: netx.contact@scsk.jp URL: <https://www.scsk.jp/sp/netxdc/>



netXDC
network eXchange attached Data Center